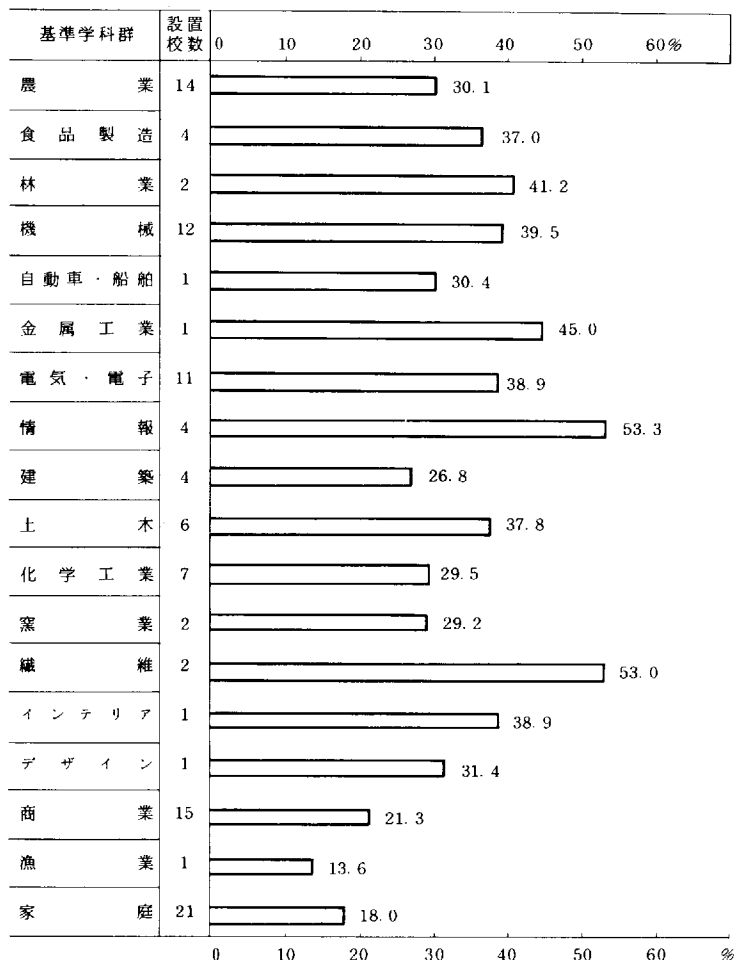


図 2-4-31 産業教育設備充実率



注：1. 「高等学校教育課調査」(昭51)による。
 2. 比率 = (昭和51年度末の充実金額) ÷ (基準金額) × 100

に、産業教育設備については、各学科間にみられる充実率の較差の要因を検討しながら、可能な限りこれらの較差を是正しつつ、整備充実を図る必要がある。また、教育機器の整備を図り、特に保有台数の少ない映写機、LL装置を計画的に整備する必要がある。

表 2-4-12 教育機器の保有状況

(単位：台)

区分 項目	テープレコーダー	テレビ	8mm 映写機	16mm 映写機	スライド 映写機	OHP	L 装	L 置
保有台数	846	214	86	116	299	359		10
1校当たりの 平均保有台数	11.0	2.8	1.1	1.5	3.9	4.7		0.1

注：「福島県立学校の実態」(昭50)による。

2. 施策の基本方向

(1) 施設

高等学校校舎及び屋内運動場の保有面積に対する木造面積の比率は、最近の公立文教施設整備事